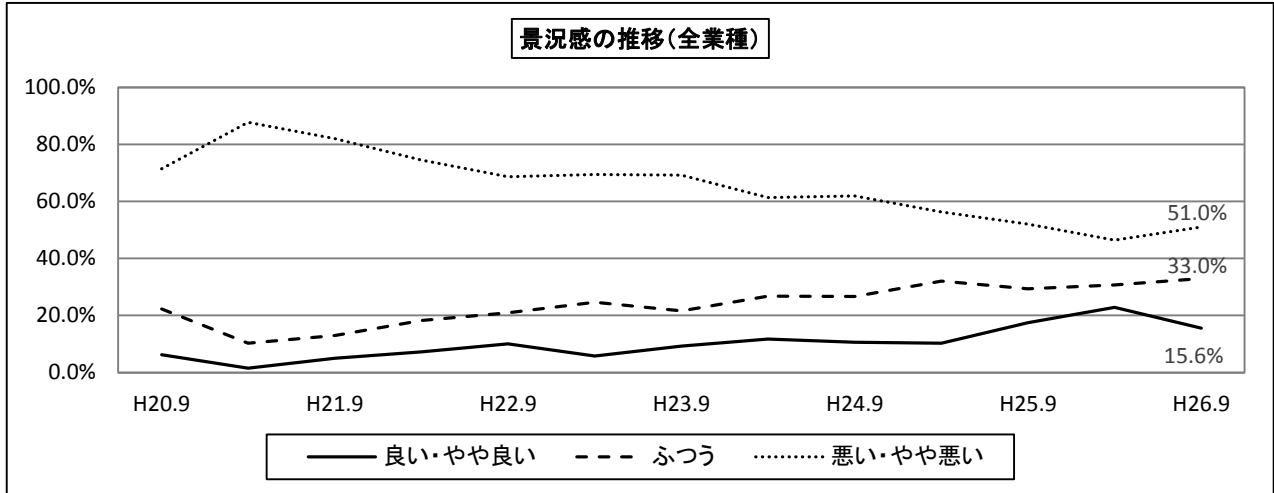


【 概況 】

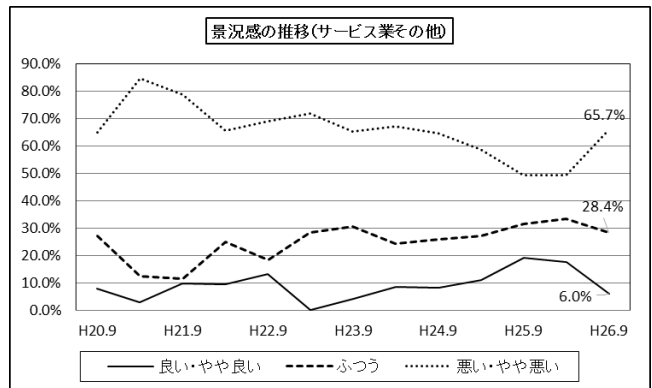
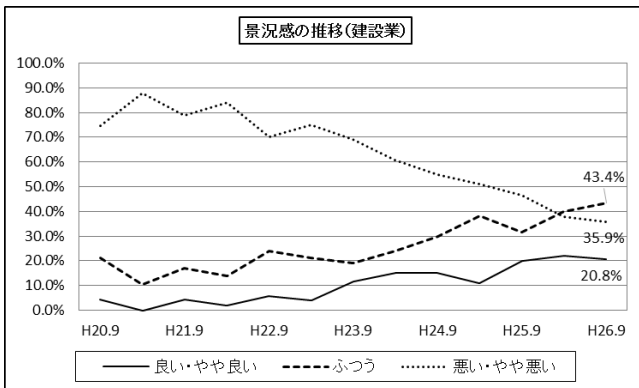
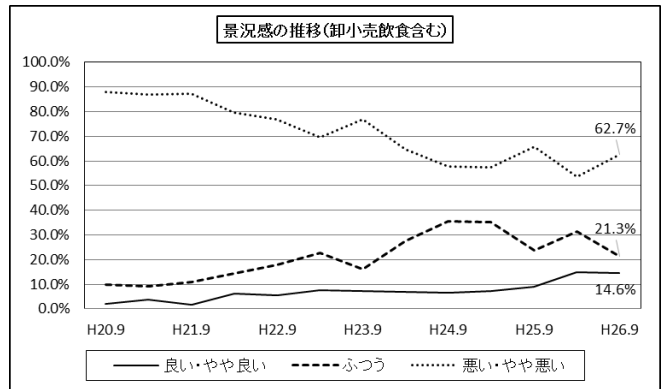
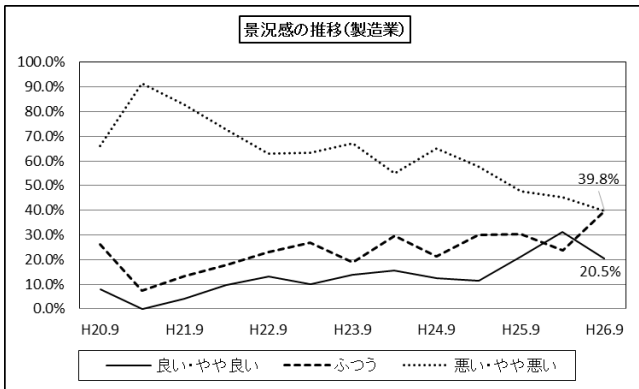
—— 景況感 『サービス業その他』で大幅に悪化 ——

《景況感》

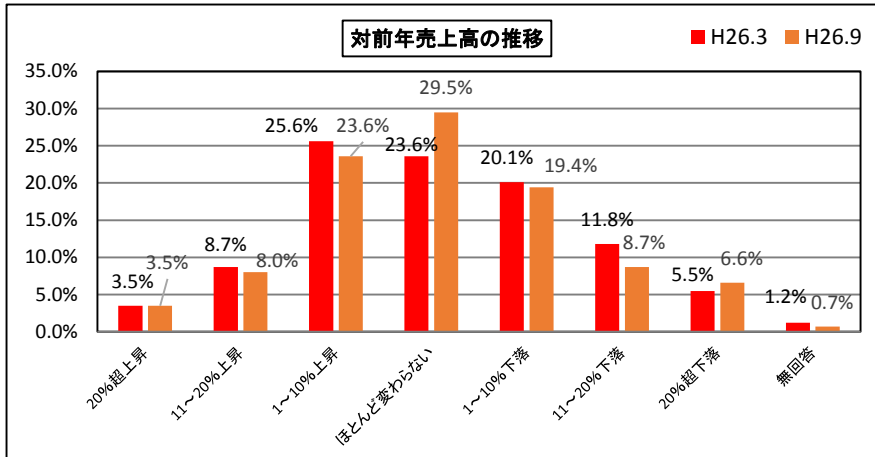


全業種の景況感は、「良い・やや良い」の数値は15.6%（前回22.8%）で7.2ポイント減少した。また、「悪い・やや悪い」の数値も51.0%（前回46.4%）と4.6ポイント増加し、前回調査から一転して、景況感は悪化を示す結果となった。

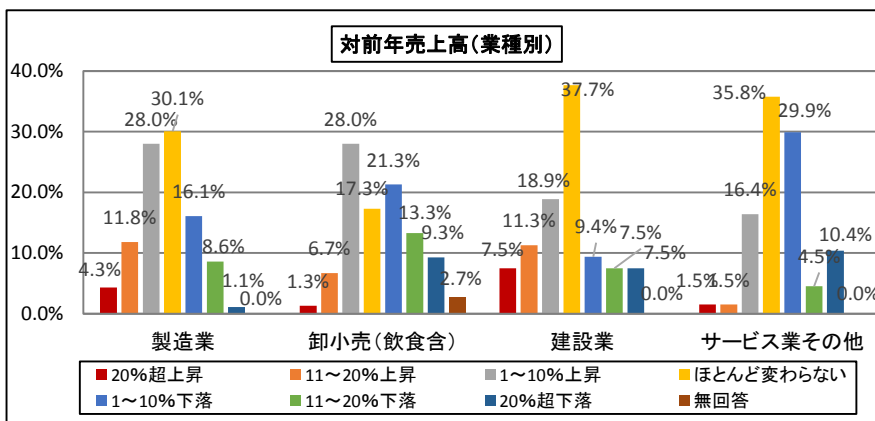
業種別でみると、『サービス業・その他』において大幅に悪化を示した。（「良い・やや良い」11.5ポイント減少。「悪い・やや悪い」16.6ポイント増加）



## 《売上高》

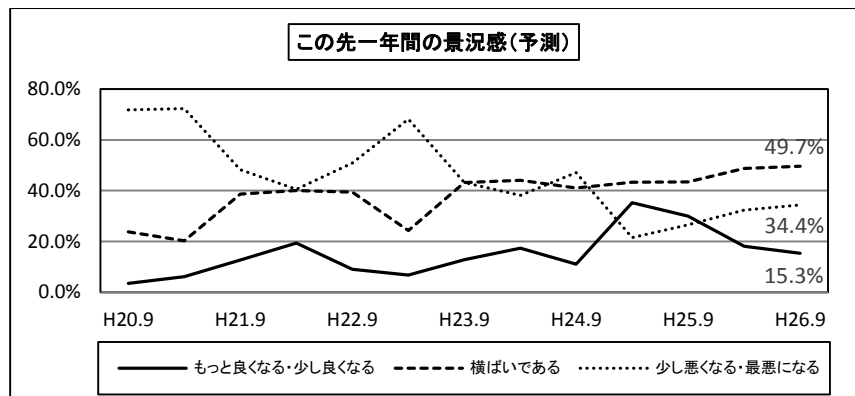


売上高を見てみると、対前年売上で“上昇”は2.7ポイント減少した。(今回35.1%、前回37.8%) また、“下落”の数値も2.7ポイント減少しており(今回34.7%、前回37.4%) “ほとんど変わらない”事業所が増加する結果となった。

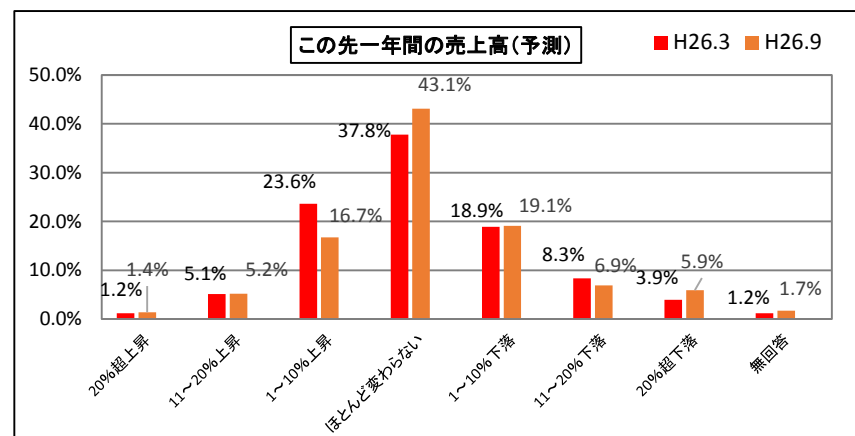


## 《景気・売上高の見通し》

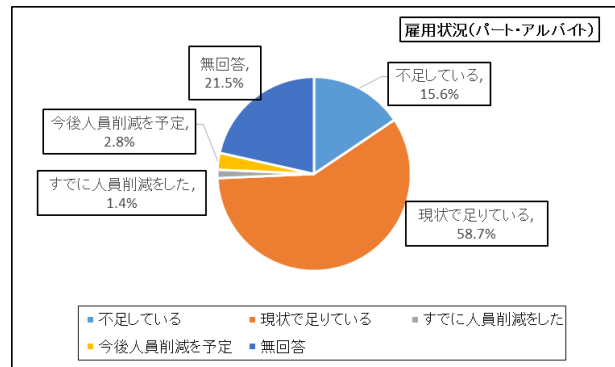
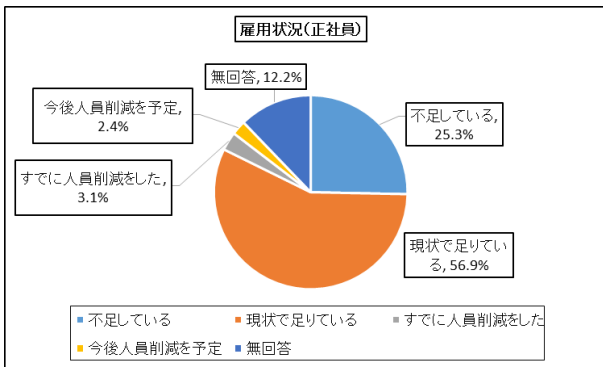
この先1年間における景況感の予測では、「もっと良くなる・少し良くなる」については、15.3%で2.8ポイント減少(前回18.1%)し、「少し悪くなる・最悪になる」については34.4%で2.1ポイント増加(前回32.3%)した。



売上高の予測においても、“下降”の数値はほぼ横ばいだったが、“上昇”の数値は23.3%(前回29.9%)と悪化傾向を示し、先行きに懸念を残す結果となった。



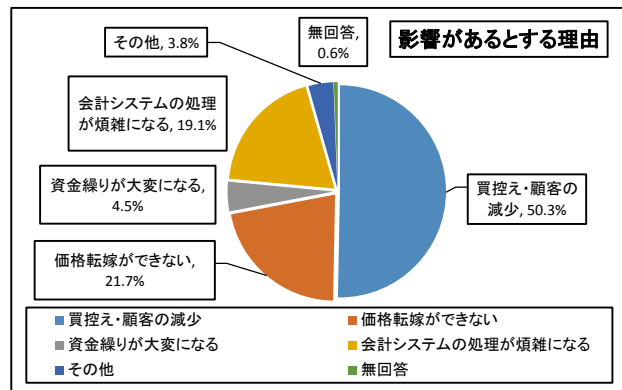
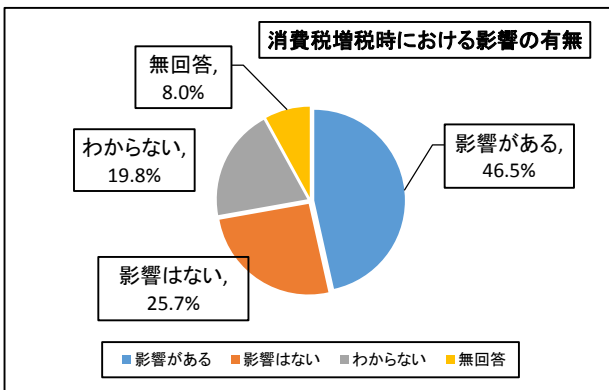
## 《労働力》



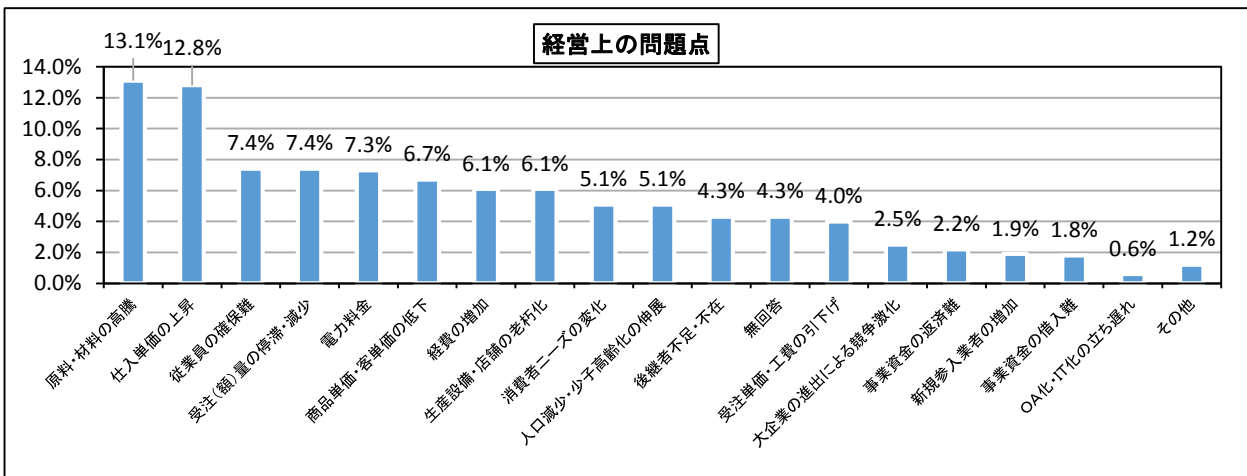
労働力については、「現状で足りている」が過半数を占めた。しかし、業種別では『建設業』において「不足している（正社員）」が41.5%となっており労働力不足を示した。

## 《消費税増税時の影響》

消費税増税時における影響については、全業種において約半数が「影響がある」と回答した。また、「影響がある」とする理由は、前回調査同様「買控え・顧客の減少」が多い指摘となった。

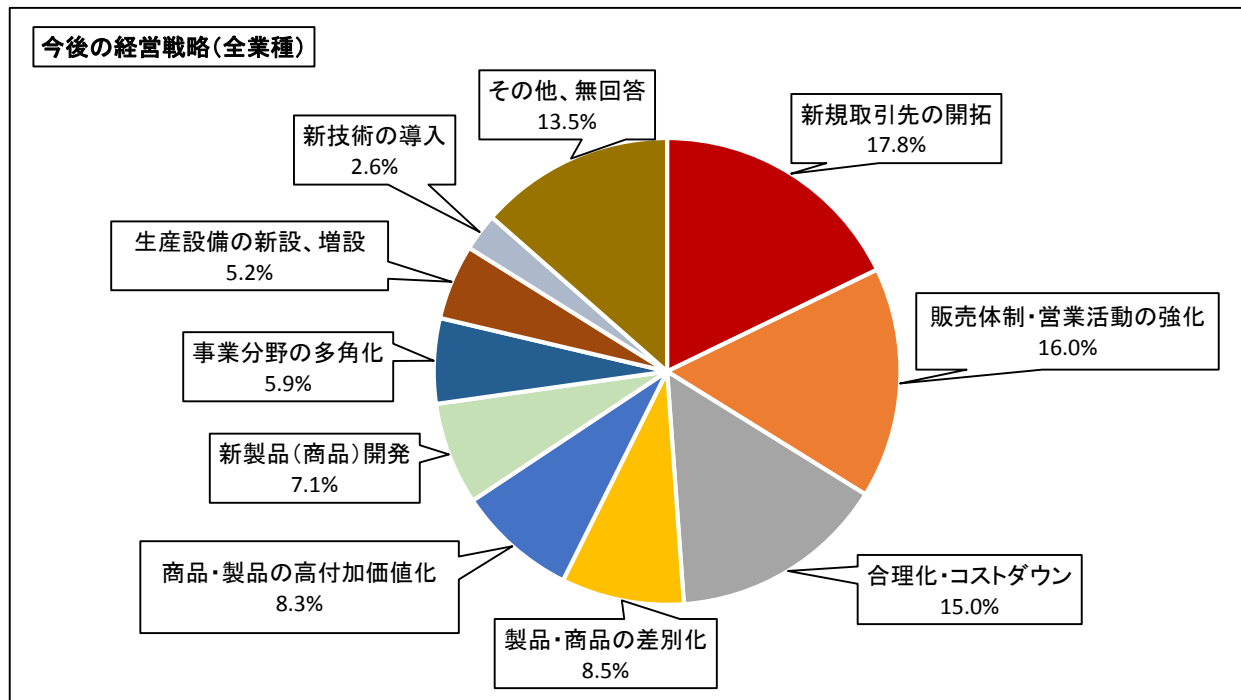


## 《経営上の問題点》



経営上の問題点では、『製造業』でもっとも指摘の多かった「原料・材料の高騰」が13.1%で第1位となった。そして、『卸小売（飲食含む）』で指摘が多かった「仕入れ単価の上昇」12.8%と続いた。

## 《今後の経営戦略》



今後の経営戦略については、『製造業』『建設業』で指摘が多かった「新規取引先の開拓」が17.8%で前回調査同様第1位。そして、『卸小売（飲食含む）』『サービス業・その他』で指摘が多かった「販売体制・営業活動の強化」が16.0%と続いた。

**【調査対象業種】**

製造業	繊維工業、金属工業、食品工業、印刷業、窯業、プラスチック工業、電気機器製造業
卸・小売業 (飲食店含む)	卸売業、食料品販売、陶器販売、文具販売、カメラ用品販売、衣料品販売、自動車・自転車販売、荒物・雑貨販売、スポーツ用品販売、花・植木販売、その他の小売、飲食業
建設業	建築・土木、鉄工、製材、木工、電気工事、左官、管・サッシ工事、塗装業、屋根工事、装飾
サービス業その他	理・美容、運送業、写真業、ホテル・旅館、クリーニング、金融・保険、税理士・社労士等、不動産業、教室・塾・練習場など

**【サンプル】**

今回の調査集計の業種別サンプルは次の通り

業 種	サンプル数
製造業	93
卸・小売業（飲食店含む）	75
建設業	53
サービス業その他	67
合 計	288